

猶往々にして拒むべからざる程の事實である。然しながら苟も公平なる見地に在りて宗教研究に從事する程のものに取りて此三派が何れも宗教の眞髓に於て一致するの消息は、余が曾て「宗敎學要論」に其嚴正なる科學的批判を試みたるにても明白なるべき筈であつて、殊に鎮西及び眞宗の宗教學的權威に就ては、通俗的叙述ながら現に前章の説明によりて讀者の容易に了解せられたるところであらう。思へ。計らひ無きところに安心が在り、それを味ひて計らふところに教義が在る。辨長の教義は、その計らひ無き安心を辨長一流の計らひによりて味へる鎮西模様であつて、彼はその無様の安心には住して居るが、毫もその模様には住して居らぬ。證空の教義は、その計らひ無き安心を證空得意の計らひに移して味へる西山模様であ

つて、彼はその無様の安心には住して居るが、全くその模様には住して居らぬ。親鸞の教義は、その計らひ無き安心を親鸞獨特の計らひに訴へて味へる眞宗模様であつて、彼はその無様の安心には住して居るが、決してその模様には住して居らぬ。住するところに一致して住せざるところに相違するが故に、彼等の間には正邪を以て自他を分け隔つべき必要は固より全く無かりし筈である。然るに後代の學徒に至りては、やゝもすれば文字に明かにして宗教に暗く、いづれも祖師の住せしどころに住するを知らずして、祖師の住せざりしころに住するを却て自ら得意とする。於是乎、其昔し法然上人が無義の義と説き無様の様と示し置かれし念佛はいつの間にかは終に文字の本願若しくは模様の信仰と化し、その文字とその模様と

の相異なるところより各派互に正邪を以て相對峙するの外に途なきに至りしは固より當然の次第であると云はねばならぬ。只々過去は追ふべからず、現在は猶しばらく度し難し。今後幸ひにして立教七百年來の積塵を一掃し各派その祖廟に直參する新宗學を建設し得るの氣運に際會せば、これらの陋見は必ずや昨夢の如く消れて、各派互に相敬し相重んずるの和氣藹々を見るであらう。

(終)

大大大大大
正正正正正
十十十十十
二二二二二
年年年年年
十八八五五
月月月月月
十一十五
月月月月月
一月十五
日日日日日
六五六四三
再再再
版版版版版

大大大大大
正正正正正
十十十十十
三二二二二
年年年年年
十一十一
月月月月月
一月廿五
日日日日日
廿廿廿廿廿
月月月月月
一月廿五
日日日日日
九九九九九
版版版版版

淨土教批判
定價金壹圓四拾錢

不許複製

著者

野々村直太郎

京都市東山線妙法院前側町
中外出版株式會社代表者

士

岐

發行者

藤澤淨
京都市間之町二條上ル

士

同朋

圓

舍

著者

京都市小石川區原町六
電話一七八七番内

士

岐

發行者

藤澤淨

京都市丸太町川端東入上ル

士

同朋

圓

舍

發行所
東關發賣所
東京市小石川區原町六
振替口座長野三二九四番
丙午出版社

◆ 類書免發社會式株版出外中 ◆

龍谷大學教授 禿氏祐祥編 史料編纂係	古代版畫集	文學士 伊勢專一郎著	岩井信實著 角田素江畫	明月珠	東本願寺 大谷光演著	この大災に遇うて	同朋愛
句佛上人が遭難の實感 に依て絶對の信仰を提 せる理想的童話集	廣汎なる佛典から取材 した教訓と趣味の充溢 唱せる一大福音書	支那朝鮮日本に亘り稀 有名品を蒐輯し該博 なる研究解説を附錄す	藝術に現れたる種々の 美相を説き、藝術觀 照の歸趣を示せる名著	四六版美裝箱入 送料金六錢	四六版美裝箱入 送料金四錢	四六版美裝箱入 送料金壹錢	同朋愛を力説せる大災 後の文書傳道の絶好本 多數申込は特別割引

◆ 類書免發社會式株版出外中 ◆

刊新最	本派本願寺 史料編纂係	撰新眞宗聖典	定價金五圓五拾錢
第一正依經典編 第二宗祖言行編 第三宗祖讀述論	第五宗祖傳編 第四宗祖讀述論	第六宗祖讀述論	書留送料金貳拾七錢
第七宗義傳編	第八宗義傳編	第九宗義傳編	總紙數一千六百七十頁
第十宗義傳編	第十一宗義傳編	第十二宗義傳編	菊版半裁・特渡上質紙
第十三宗義傳編	第十四宗義傳編	第十五宗義傳編	總革裝幀三方金箱入
第十六宗義傳編	第十七宗義傳編	第十八宗義傳編	菊版學習明文昭
第十九宗義傳編	第二十宗義傳編	第二十一宗義傳編	松山忍明
第二十二宗義傳編	第二十三宗義傳編	第二十四宗義傳編	山邊大智見
第二十五宗義傳編	第二十六宗義傳編	第二十七宗義傳編	佐々木月標
第二十八宗義傳編	第二十九宗義傳編	第三十宗義傳編	島地大智見
第三十一宗義傳編	第三十二宗義傳編	第三十三宗義傳編	前南藻禿氏祐祥
第三十四宗義傳編	第三十五宗義傳編	第三十六宗義傳編	妻木直良
第三十七宗義傳編	第三十八宗義傳編	第三十九宗義傳編	鷺尾山田
第三十宗義傳編	第三十一宗義傳編	第三十二宗義傳編	妻木直良
第三十三宗義傳編	第三十四宗義傳編	第三十五宗義傳編	鷺尾山田
第三十六宗義傳編	第三十七宗義傳編	第三十八宗義傳編	松山忍明
第三十九宗義傳編	第四十宗義傳編	第四十一宗義傳編	教導
第四十二宗義傳編	第四十三宗義傳編	第四十四宗義傳編	書留送料金貳拾七錢
第四十五宗義傳編	第四十六宗義傳編	第四十七宗義傳編	總紙數一千六百七十頁
第四十八宗義傳編	第四十九宗義傳編	第五十宗義傳編	菊版半裁・特渡上質紙
第五十一宗義傳編	第五十二宗義傳編	第五十三宗義傳編	總革裝幀三方金箱入
第五十四宗義傳編	第五十五宗義傳編	第五十六宗義傳編	菊版學習明文昭
第五十七宗義傳編	第五十八宗義傳編	第五十九宗義傳編	松山忍明
第五十宗義傳編	第五十一宗義傳編	第五十二宗義傳編	山邊大智見
第五十三宗義傳編	第五十四宗義傳編	第五十五宗義傳編	佐々木月標
第五十六宗義傳編	第五十七宗義傳編	第五十八宗義傳編	島地大智見
第五十九宗義傳編	第六十宗義傳編	第六十一宗義傳編	前南藻禿氏祐祥
第六十二宗義傳編	第六十三宗義傳編	第六十四宗義傳編	妻木直良
第六十五宗義傳編	第六十六宗義傳編	第六十七宗義傳編	鷺尾山田
第六十八宗義傳編	第六十九宗義傳編	第七十宗義傳編	松山忍明
第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	第七十三宗義傳編	教導
第七十四宗義傳編	第七十五宗義傳編	第七十六宗義傳編	書留送料金貳拾七錢
第七十七宗義傳編	第七十八宗義傳編	第七十九宗義傳編	總紙數一千六百七十頁
第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	菊版半裁・特渡上質紙
第七十三宗義傳編	第七十四宗義傳編	第七十五宗義傳編	總革裝幀三方金箱入
第七十六宗義傳編	第七十七宗義傳編	第七十八宗義傳編	菊版學習明文昭
第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	松山忍明
第七十二宗義傳編	第七十三宗義傳編	第七十四宗義傳編	山邊大智見
第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	佐々木月標
第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	島地大智見
第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	第七十三宗義傳編	前南藻禿氏祐祥
第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	妻木直良
第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	鷺尾山田
第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	松山忍明
第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	教導
第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	書留送料金貳拾七錢
第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	總紙數一千六百七十頁
第七二宗義傳編	第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	菊版半裁・特渡上質紙
第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	總革裝幀三方金箱入
第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	菊版學習明文昭
第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	第七十三宗義傳編	松山忍明
第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	山邊大智見
第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	佐々木月標
第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	島地大智見
第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	前南藻禿氏祐祥
第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	妻木直良
第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	鷺尾山田
第七二宗義傳編	第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	松山忍明
第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	教導
第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	書留送料金貳拾七錢
第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	第七十三宗義傳編	總紙數一千六百七十頁
第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	菊版半裁・特渡上質紙
第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	總革裝幀三方金箱入
第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	菊版學習明文昭
第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	松山忍明
第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	山邊大智見
第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	佐々木月標
第七二宗義傳編	第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	島地大智見
第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	前南藻禿氏祐祥
第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	妻木直良
第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	第七十三宗義傳編	鷺尾山田
第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	松山忍明
第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	教導
第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	書留送料金貳拾七錢
第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	總紙數一千六百七十頁
第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	菊版半裁・特渡上質紙
第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	總革裝幀三方金箱入
第七二宗義傳編	第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	菊版學習明文昭
第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	松山忍明
第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	山邊大智見
第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	第七十三宗義傳編	佐々木月標
第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	島地大智見
第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	前南藻禿氏祐祥
第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	妻木直良
第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	鷺尾山田
第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	松山忍明
第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	教導
第七二宗義傳編	第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	書留送料金貳拾七錢
第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	總紙數一千六百七十頁
第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	菊版半裁・特渡上質紙
第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	第七十三宗義傳編	總革裝幀三方金箱入
第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	菊版學習明文昭
第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	松山忍明
第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	山邊大智見
第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	佐々木月標
第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	島地大智見
第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	前南藻禿氏祐祥
第七二宗義傳編	第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	妻木直良
第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	鷺尾山田
第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	松山忍明
第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	第七十三宗義傳編	教導
第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	書留送料金貳拾七錢
第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	總紙數一千六百七十頁
第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	菊版半裁・特渡上質紙
第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	總革裝幀三方金箱入
第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	菊版學習明文昭
第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	松山忍明
第七二宗義傳編	第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	山邊大智見
第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	佐々木月標
第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	島地大智見
第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	第七十三宗義傳編	前南藻禿氏祐祥
第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	妻木直良
第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	鷺尾山田
第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	松山忍明
第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	教導
第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	書留送料金貳拾七錢
第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	總紙數一千六百七十頁
第七二宗義傳編	第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	菊版半裁・特渡上質紙
第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	總革裝幀三方金箱入
第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	菊版學習明文昭
第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	第七十三宗義傳編	松山忍明
第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	山邊大智見
第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	佐々木月標
第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	島地大智見
第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	前南藻禿氏祐祥
第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	妻木直良
第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	鷺尾山田
第七二宗義傳編	第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	松山忍明
第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	教導
第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	書留送料金貳拾七錢
第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	第七十三宗義傳編	總紙數一千六百七十頁
第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	菊版半裁・特渡上質紙
第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	總革裝幀三方金箱入
第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	菊版學習明文昭
第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	第七五宗義傳編	松山忍明
第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	第七八宗義傳編	山邊大智見
第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	第七十一宗義傳編	佐々木月標
第七二宗義傳編	第七三宗義傳編	第七四宗義傳編	島地大智見
第七五宗義傳編	第七六宗義傳編	第七七宗義傳編	前南藻禿氏祐祥
第七八宗義傳編	第七九宗義傳編	第七十宗義傳編	妻木直良
第七十一宗義傳編	第七十二宗義傳編	第七十三宗義傳編	鷺尾山田

◆ 類書兌發社會式株版出外中 ◆

長谷川如是閑著	道徳の現實性
大谷大學教授 金子大榮著	宗教的理性
文學士 丹羽正義著	歴史學概論
醫學博士越智真逸・同千代子共著	真宗安心の根本義
醫學上より觀たる理想的的文化生活	
石川舜台著	

◆ 類書兌發社會式株版出外中 ◆

家門專各 說研究	書叢典古教佛	存保典古 行刊書稀
編六第	明義進行集(河内金剛寺藏)	第一 古本一言芳談(鷲尾教導氏藏) 定價金壹圓八拾錢
編五第	古本漢語燈錄(今岡達音氏藏)	編祖師一口法語(西本願寺藏) 送料金六錢
編四第	續選擇集文義要抄(越前法雲寺藏)	第二 顯今光闇百首(妻木直良氏藏) 定價金壹圓六拾錢
編三第	古本漢語燈錄(今岡達音氏藏)	編二 顯今光闇百首(妻木直良氏藏) 定價金壹圓六拾錢
編法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏)	定價金貳圓	編祖師一口法語(西本願寺藏) 送料金六錢
編三第	定價金壹圓五拾錢	第三 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編四第	定價金壹圓七拾錢	第四 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編五第	定價金壹圓八拾錢	第五 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編六第	定價金壹圓六拾錢	第六 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編七第	定價金壹圓八拾錢	第七 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編八第	定價金壹圓八拾錢	第八 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編九第	定價金壹圓八拾錢	第九 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編十第	定價金壹圓八拾錢	第十 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編十一第	定價金壹圓八拾錢	第十一 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編十二第	定價金壹圓八拾錢	第十二 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編十三第	定價金壹圓八拾錢	第十三 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編十四第	定價金壹圓八拾錢	第十四 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編十五第	定價金壹圓八拾錢	第十五 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編十六第	定價金壹圓八拾錢	第十六 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編十七第	定價金壹圓八拾錢	第十七 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編十八第	定價金壹圓八拾錢	第十八 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編十九第	定價金壹圓八拾錢	第十九 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓
編二十第	定價金壹圓八拾錢	第二十 法然上人ノ秘傳記(高野山中院藏) 定價金貳圓

■ 刷印明鮮組トントイボ二十綴和紙和質上各
■ 附添刷版本原書

◆類書免發社會式株版出外中◆

西光萬吉著並裝幀
曲淨火(附毗琉璃王)

水平社を創始した著者の心胸を潛つた火の様な人間愛の表現である

四六版上製箱入
定價金壹圓八拾錢
送料金拾貳錢

文學士江馬務著
日本妖怪變化史

上下三千年に亘る妖怪變化を各方面から説破した前古無比の神秘奇書

四六版版畫美裝
寫眞木版等數十個
定價金貳圓七拾錢
送料金拾五錢

江馬務序森德太郎著
風俗史研究指針

人類生活様式の變遷を知るべき風俗史並に文化研究の絶好指針

四六版版畫美裝
菊版和綴高雅裝幀
定價金壹圓四拾錢
送料金拾錢

大谷大學教授橋川正著
蓮如上人の和歌

上人の豊富なる情意生活の表現たる和歌の研究として特異なる好著

菊半截
總クロース上製
定價金八拾五錢
送料金四錢

石川舞台著
心性學說

佛教と儒教に基調し心性の大本を論じ國民の自覺を促せる一大論策

菊版絹製箱入
定價金貳錢
送料金拾錢

終

